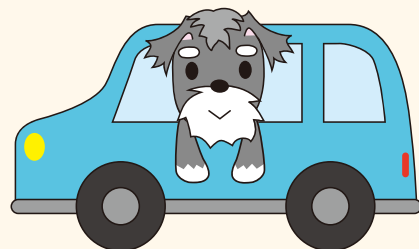


日本ELVリサイクル機構
(ELV機構)
会員事業者数一覧

自動車リサイクル産業に携わるすべての事業者を対象とする業界の全国組織



(2018年1月時点)
出典: ELV機構HPより

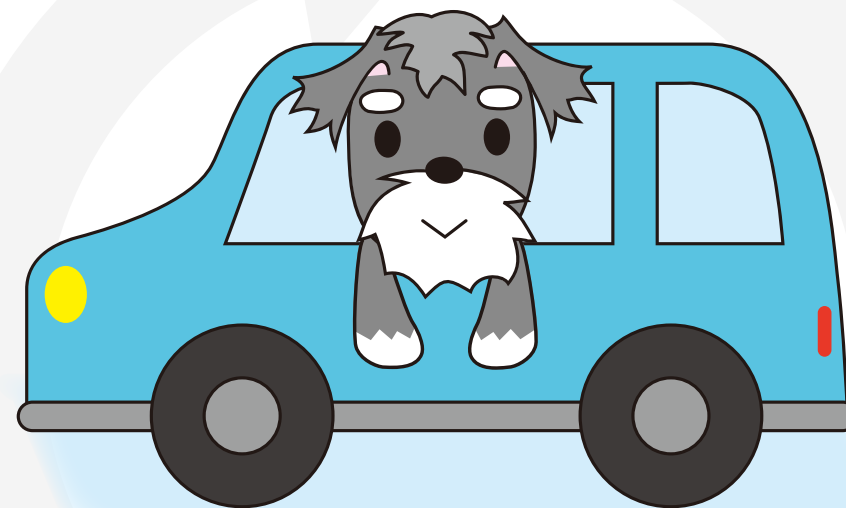


NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6-510
TEL:03-6300-5157 FAX:03-6300-5158
E-mail:info@genki-net.jp



そうだったのか!
自動車リサイクル

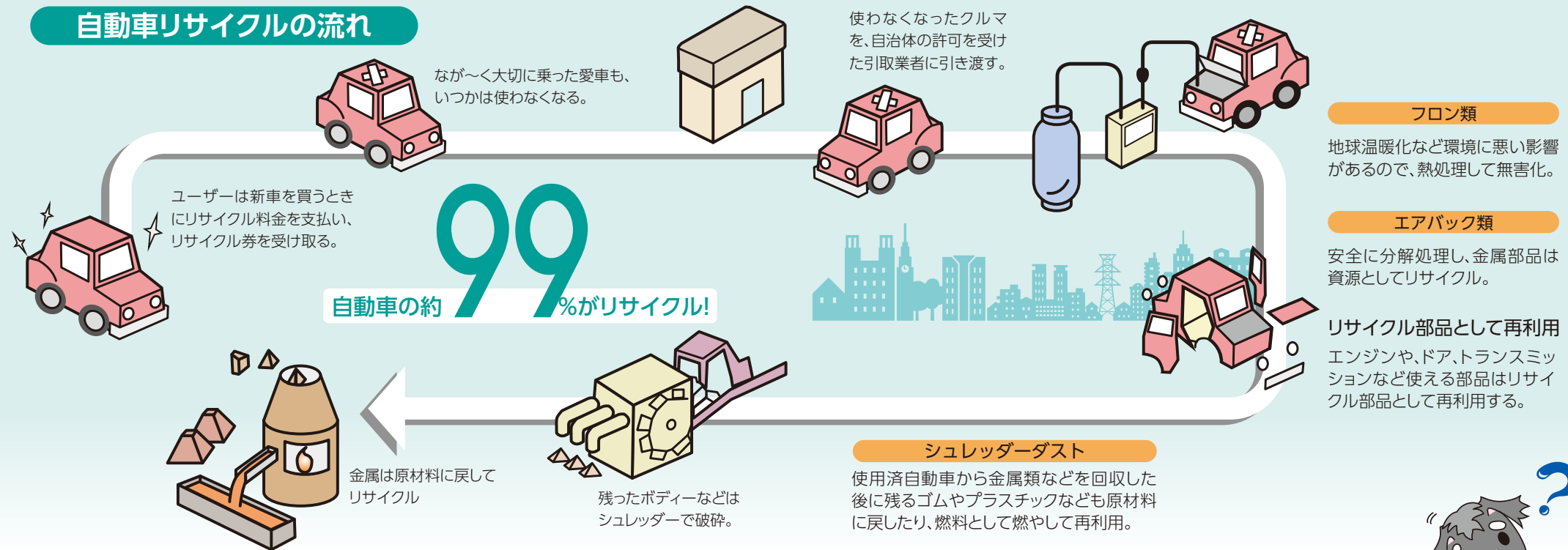


RECYCLING



このノートは自動車リサイクル高度化財団の普及啓発事業として、
自動車リサイクル促進センターのデータ(2017年7月)とHPを基に元気ネットが作成しました。

自動車リサイクルの流れ



ユーザーが支払ったリサイクル料金により処理する3物品



リサイクル料金の内訳例

6,000円〜18,000円程度

※リサイクル料金額は、自動車の種類によって変わります。

項目	金額
シュレッダーダスト料金	5,290円
エアバッグ類料金	1,930円
フロン類料金	1,650円
情報管理料金	130円
資金管理料金	290円*
(例)合計	9,000円

※使用済自動車の引取等の場合は410円

リサイクル料金はどんなふうに使われているのかな?

あなたが支払ったリサイクル料金で、クルマが適正にリサイクルされています

年間で約300万台（2016年度）にも上る使用済自動車。埋め立て処分場の逼迫や最終ユーザーが引取業者に費用を支払った上で使用済自動車を引き渡す取引が進んだことによる不法投棄や、フロン類・エアバッグ類の不十分な処理などの懸念が出てきたことで2005年に法律に基づく「自動車リサイクルシステム」が本格スタート。ユーザーが新車購入時に所定のリサイクル料金を支払うという仕組みが出来上がりました。そのリサイクル料金はクルマのリサイクル処理に要する費用として適正に使われ、現在では約99%のリサイクルが可能となりました。

リサイクル部品としての再利用は地球環境への負荷低減にもつながる

使用済自動車から取り外されたエンジンやドアといった部品は、リサイクル部品として再利用されます。これは限りある資源の有効活用であり、新品部品よりも経済的な点も見逃せません。使用済自動車は無駄なく再利用できる有用資源の代表格です。また、廃棄物の減少はエネルギー使用を抑制し、地球温暖化を防ぐCO₂（二酸化炭素）削減にも貢献するのです。



リサイクル部品を使用するメリット



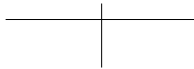
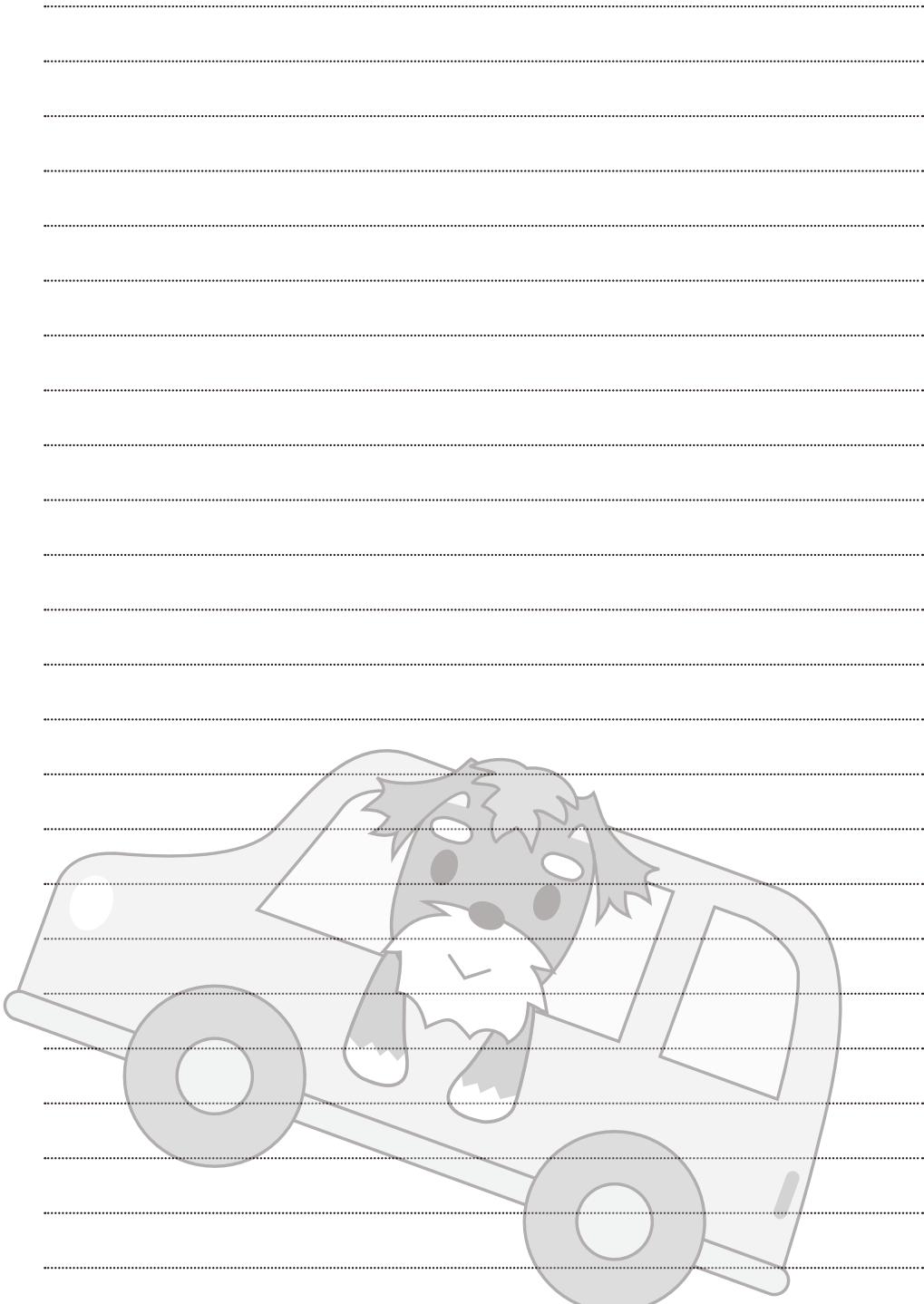
環境負荷低減



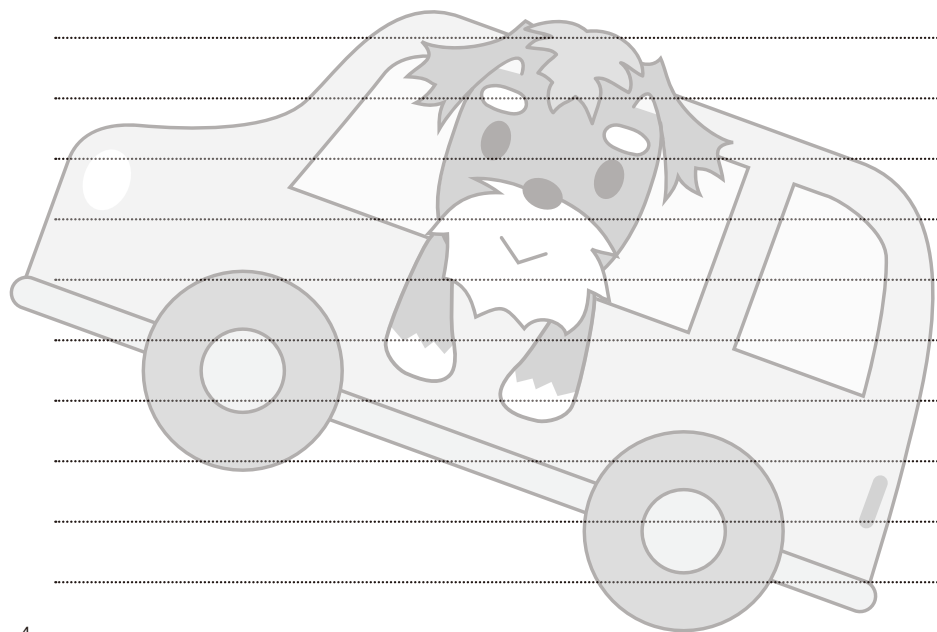
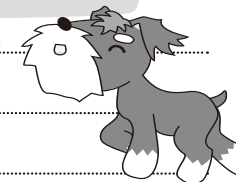
経済性



不法投棄・不適正保管がまだ5,589台もあるんだよ (2016年3月末)



離島からの海上輸送費の8割を援助しています (東京都小笠原村からは1台約39,000円)



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

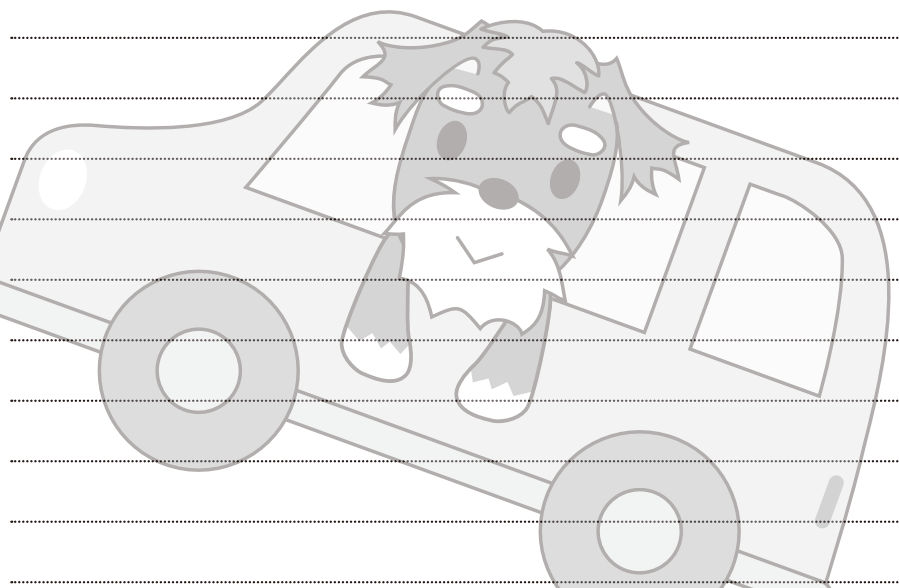
.....

.....

.....

.....

.....



自動車リサイクル情報システムは、地方銀行並みに大規模なんだって



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

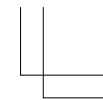
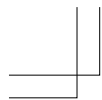
.....

.....

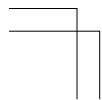
.....

.....

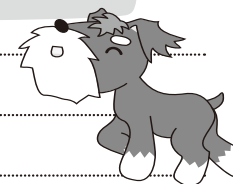
.....



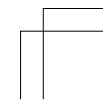
A series of horizontal dotted lines for handwriting practice on page 12.

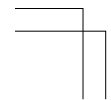
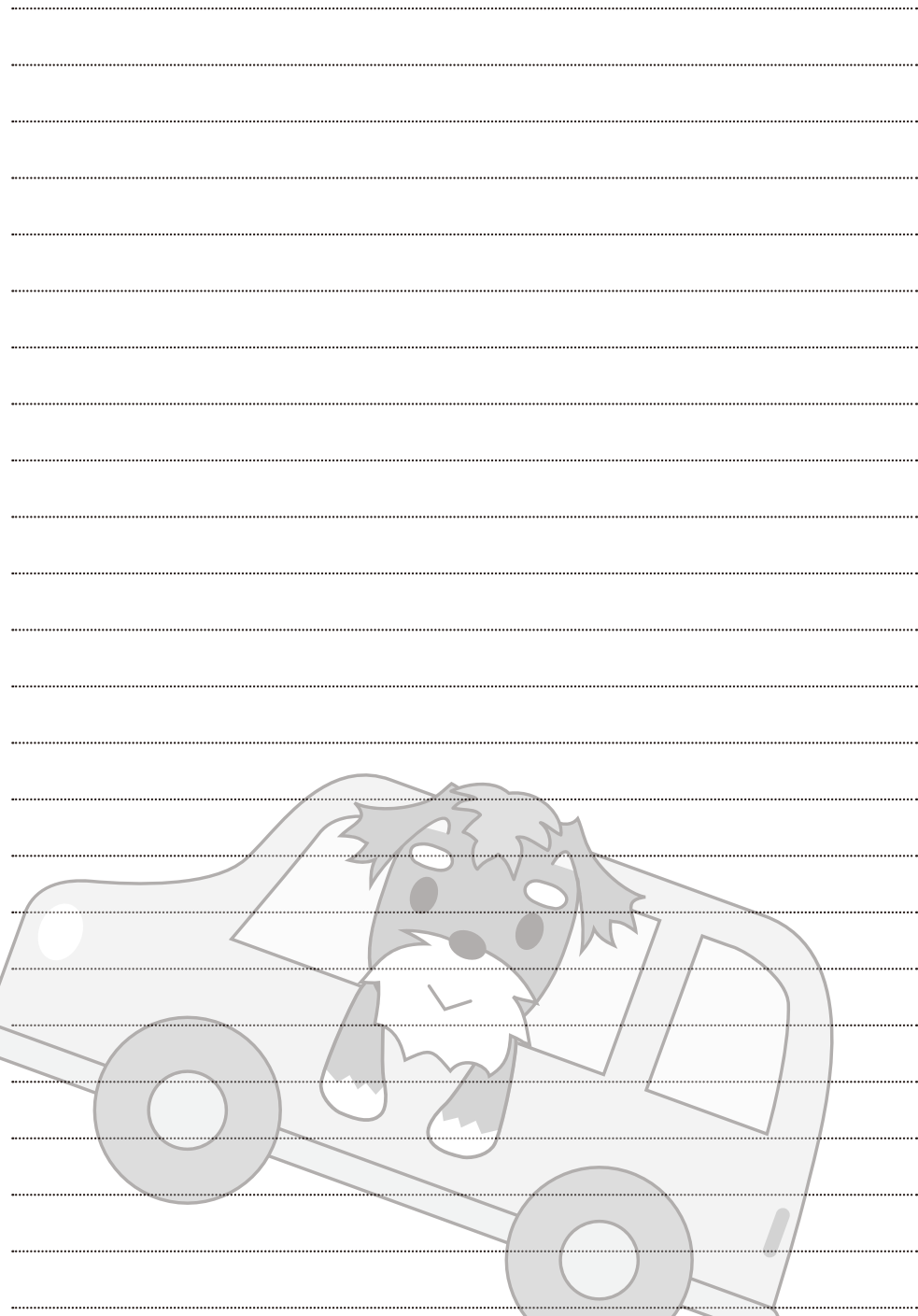
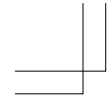


車の使用年数は平均15,2年です

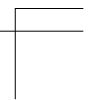
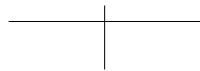
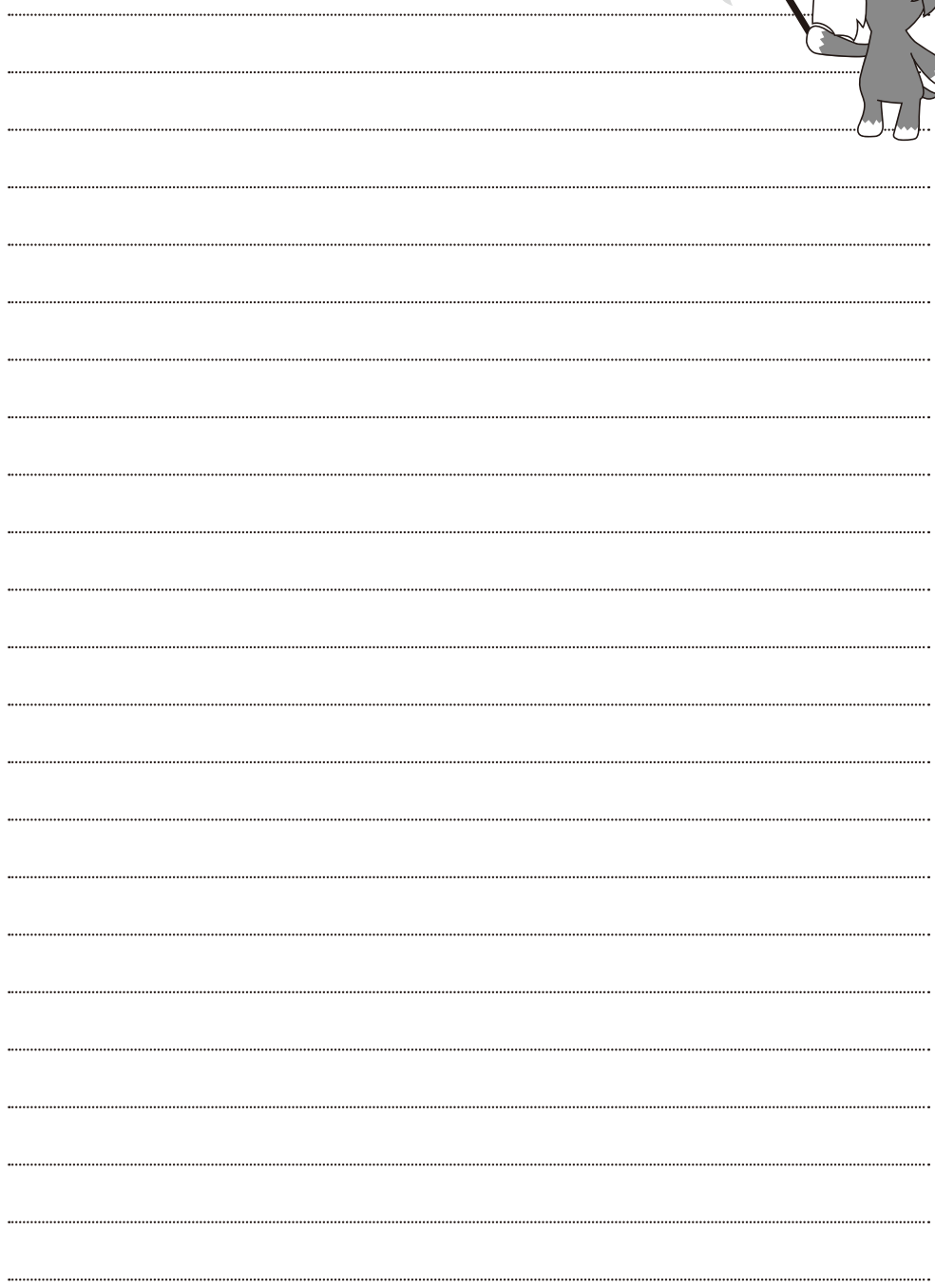
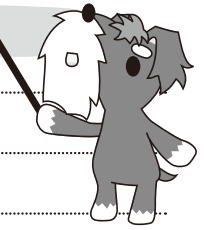


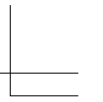
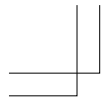
A series of horizontal dotted lines for handwriting practice on page 13.



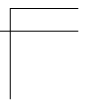
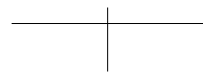
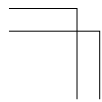
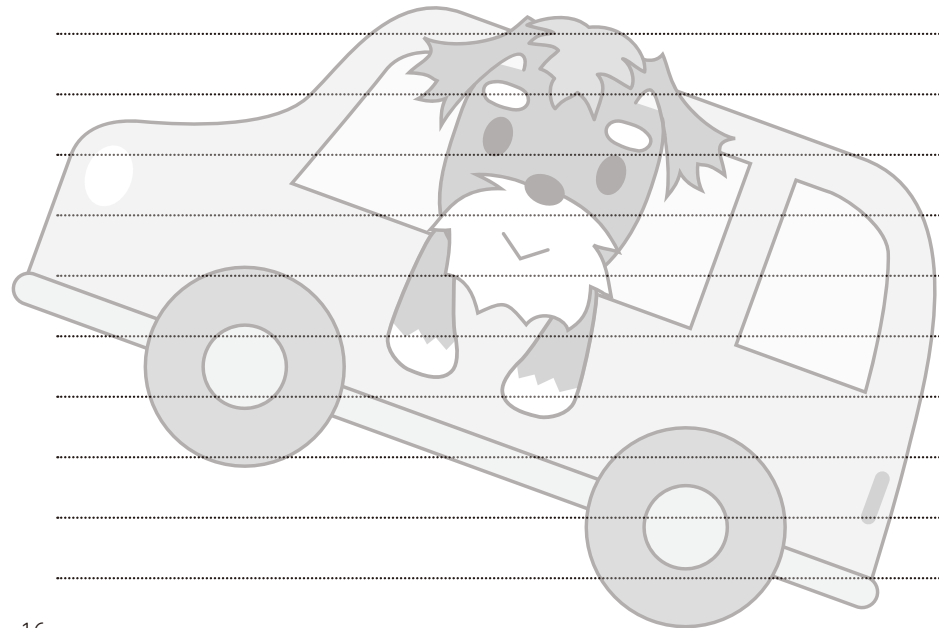
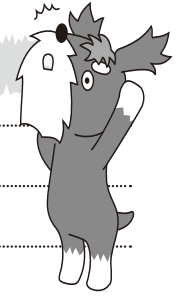


使用済車の1台あたり20〜30%がリユース部品として使われます



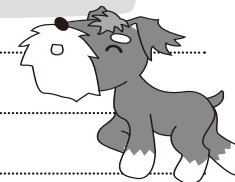


豊島(てしま)の不法投棄処理に14年間、7百億円以上もかかりました

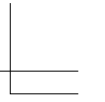
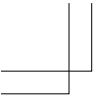


Lined writing area on page 18.

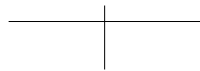
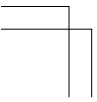
修理の時、リユース部品を考えてね



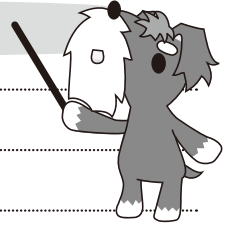
Lined writing area on page 19.



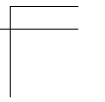
A series of horizontal dotted lines for handwriting practice on page 20.



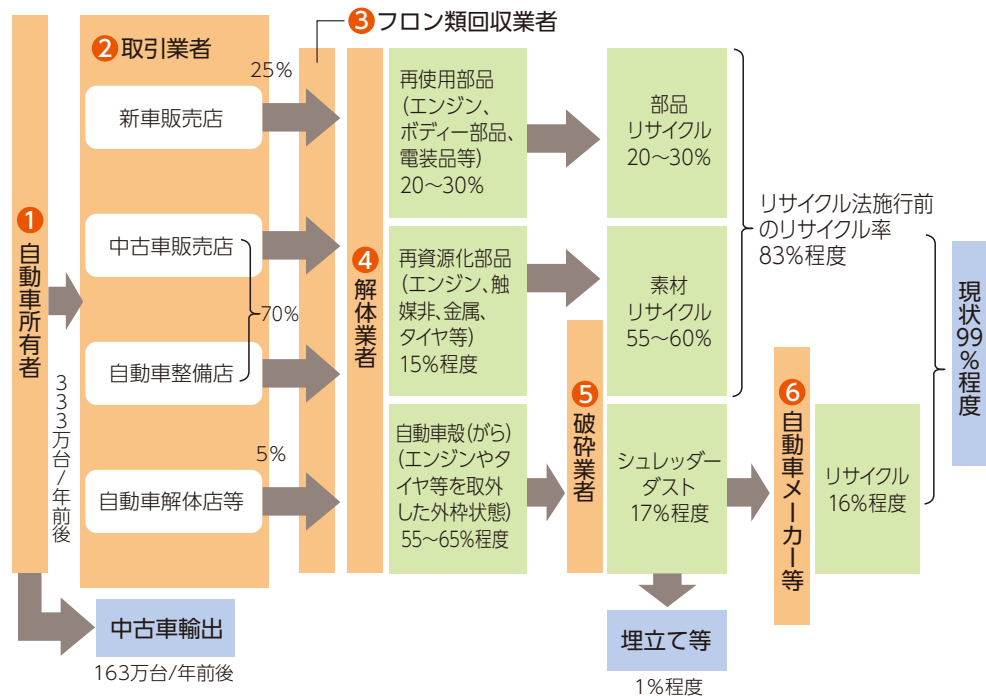
今後の激甚災害のために50億円準備します



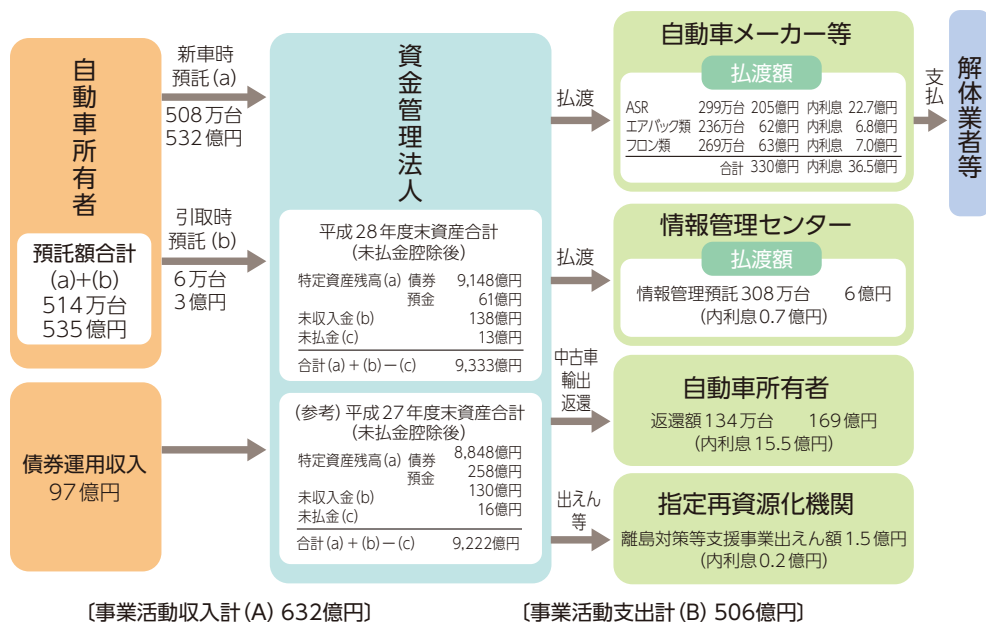
A series of horizontal dotted lines for handwriting practice on page 21.



平成26年度における使用済自動車のリサイクル・処理の流れ



平成28年度における再資源化預託金等の流れ



特預金って？



特定再資源化預託金等【特預金】

(とくていさいしげんかよたくきんとう)

リサイクル料金等のうち、輸出中古車につき返還請求がない場合、廃車ガラ輸出によりシュレッダーダストの処理が不要となった場合等に結果として発生し、主務大臣の承認・認可を受け、再支援化支援部の行う離島対策の事業等のように用途が確定された『特定再資源化預託金等』の略称。

2016年度末153億円(元本136億円+利息17億円)

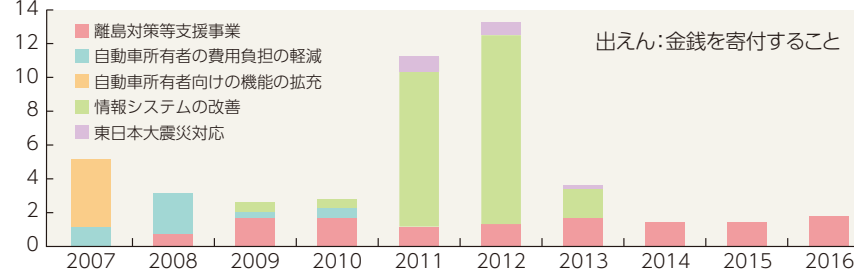
特預金の使われ方

特預金の使われた主な実績(2005~2016年度累計)(単位:百万円)

- 離島対策等支援事業(海上運搬費・不法投棄対策など) 2,002
- 情報システムの改善(性能対策) 2,338
- 東日本大震災対応(被災車両のリサイクル・処理) 180
- 自動車所有者の費用負担軽減(電子マニフェスト運営費) 790 (12,593台)

● 特定再資源化預託金等の年度別出えん等実績

(単位:億円)



関連組織

- 一般社団法人 日本自動車工業会 (JAMA) < 略称: 自工会 >
<http://www.jama.or.jp/>
- 自動車輸入組合 (JAIA)
<http://www.jaia-jp.org/>
- 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター (JARC)
<http://www.jarc.or.jp/>
- 一般社団法人 自動車再資源化協力機構 (jarp) < 略称: 自再協 >
<http://www.jarp.org/>
- 一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 (略称: ELV機構)
<http://www.elv.or.jp/>
- 一般社団法人 日本自動車リサイクル部品協議会 (略称: リ協)
<http://www.japra.gr.jp/cms/summary>
- 公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団 (J-FAR)
<https://j-far.or.jp/>